



## エカフエ主催による第4回地質図作成作業部会および鉱物資源開発小委員会東京で開く

各種の地質・鉱産図が国際的協力によって作られることは、地質および鉱床学本来の立場からみて喜ばしいことである。来る4月20日から約2週間、東京の品川プリンス・ホテルを会場として極東地域各国の地質・鉱山の専門家たちの会合が行われるが、地質調査所の業務に關係の深い地質図作成作業部会の予定議題について、以下簡単に述べてみよう。

1. 地質図作成作業部会の活動状況等についてのエカフエ総会等における所見(エカフエ事務局の報告)
2. 第3回会合以降の地質調査事業と その関連活動についての各国の報告
3. 地域図の調製
  - (1) 世界地質図等の調製についての国際地質学会・世界地質図委員長からの報告

- (2) 東南アジア地域地質図の調製について  
(インド地質調査所長報告)
- (3) 地域内の既知鉱物資源分布図の調整について  
(インドおよび日本地質調査所長の報告)
- (4) 地域内の石油および天然ガス図の調製  
(英領ボルネオ地質局長報告)
- (5) 地域内の広域鉱床区図の調製方法について  
(エカフエ事務局説明 日本地質調査所長報告)

4. 地域内各国の地下水源地質調査に関する各国の報告
5. 土地地質調査

以上のうち、とくに既知鉱物資源分布図・石油および天然ガス図・広域鉱床図の作成と取りまとめが重点となる予想であるが、これらについての主導的役割を果しつつある日本からの諸提案をめぐって、活発な討論が交わされることとなろう。

また、この部会の活動範囲は逐次拡大され、議題2に関連して各国の地質・資源の調査分野における技術的問題点の討議と情報交換が行われ、さらに東南アジアにおいても、最近とみに重要性を増してきた地下水源地質調査についての議題が新しく採り上げられたことは、注目に値しよう。  
(企画課)



会場予定の品川プリンス・ホテル